

所 管	まちづくり企画部情報政策課		
担 当	鈴木 剛士	問い合わせ	0573-26-2111 (内線 358)

報 道 機 関 各 位

スマートスピーカーの活用による安心安全なくらしづくり事業について

少子高齢化や人口減少に起因する様々な課題をスマートスピーカーの活用により解決し、コミュニティの維持、持続的な発展を目指す生活支援事業を実施します。今回の事業は、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、地域からの要望や人口規模等も勘案し、実施エリアを限定して実証的に行うものです。

この事業費を6月補正予算に計上しましたので、お知らせします。

記

1. 事業内容

モニターとスピーカーが一体となったスマートスピーカーを各世帯に設置し、双方向での映像・音声のやり取りが可能な特性を生かして、以下のような取り組みから活用を始めます。

- (1) 行政からの各種情報の情報配信
- (2) オンラインサービスを活用した高齢独居世帯などの見守り
- (3) 災害情報や避難情報などの配信や安否確認





市公式キャラクター
『エーナ』



恵那市役所報道発表資料

令和5年5月22日

2. 対象地域

飯地町（全 255 世帯）

3. 事業費（6月補正予算）

歳入 16,264 千円（デジタル田園都市国家構想交付金）

歳出 33,519 千円（地域情報運営経費）

4. 今後の予定

設置、運用テスト等を経て、10月頃を目途に順次運用を開始します。

5. その他

将来的な全市展開も視野に入れ、事業を実施します。